

辯護士尾形兵太郎君序
辯護士角谷大三郎君序
津本成德著

改
正衆議院議員選舉法註釋

大阪 交盛館發行

314.8 To 334-P



336840

書 翰

拜啓御來示ニ相成リ候改正衆議院議員選舉法注釋拜見仕リ候誠ニ明解平易ニシテ何人ニモ分リ易ク國民ヲ裨益致候事多大ト奉存候選舉區ノ大小。記名投票ト無記名制之如キ一得一失アリテ新法ノ下ニ經驗ヲ重キサレバ可否容易ニ斷言出來不申候得共概シテ云ヘハ新法ハ舊法ヨリ優リ候筈ト存シ候

書

翰

只小生ノ憂フル處ハ何分ニモ國民タルモ
ノ公權ノ看念ニ乏シク公權ハ權利ナルト
同時ニ義務ナルコトヲ解セサルヲニテ其
結果タルヤ選舉人トシテハ黃白ノ爲メニ
投票ヲ左右シ被選舉人トシテハ棍棒酒食
ヲ以テ勝ヲ選舉場裡ニ争ヒ當選ノ後ハ収
賄ノ爲メニ其說ヲ二三ニスルカ如キ權利
ノ亂用ハ未ダシモ全ク自己ノ公義務ヲ盡
ササルニ至リテハ何トモ申様無之候
新選舉法ハ是等ノ點ニ干シ誠ニ用意周到

書

翰

ト可申候乍併大体國民ノ政治思想今一段
ノ進歩ヲ遂ケサレハ選舉法ノ改正モ國益
ノ上ニ左程ノ効驗ハ無之ト被存候左ハ云
へ改正選舉法ハ將サニ本年度ヨリ實施セ
ラレ候得ハ貴下ノ此著ノ如キ目下有用ノ
書ト存候

月 日

兵 太 郎 拜 復

拜啓陳ハ貴著衆議院議員選舉法御發行ニ付序文之儀御委囑相成候ニ付拜見致候處至極簡明ニシテ時節柄最モ有益ナル御著述ト存候然ルニ小生之ニ序文ヲ相認メ候ハ其任ニアラス却テ蛇足ヲ添フルモノト存候間其儘御發行相成候方可然ト存候
草々拜備

卅五年三月

角谷大三郎

津本成徳様

緒言

一本法ハ明治三十三年法律第七十三號ヲ以テ發布セラレ本年ノ總選舉ヨリ施行セララル、モノナリ抑モ法治國ノ民タルモノハ其一舉一動皆國法ノ支配ヲ受ケザルハナシ故ニ國民タルモノハ法律ノ公布ト共豫シメ之ヲ講究シ且ツ之ヲ遵奉セザルベカラズ殊ニ本法ハ帝國議會ノ議員ヲ選定スベキ最モ名譽アル選舉權者及被選舉權者タル者ノ、瞬時モ等閑視スベカラザル貴重ノ法典ナリトス余固ヨリ法ヲ論シ理ヲ究ムル能力ヲ有スル者ニアラズト雖ドモ亦其一班ヲ知ル故ニ茲ニ本法ノ意義ヲ要

解シ初學ノ徒ヲシテ該法ノ精神ヲ知了セシメントス夫
 レ高尚ナル法理ヲ究メ又其蘊奧ヲ研鑽セント欲スルノ
 士ハ世間幾多各其専門家ノアルアレバ就テ之ヲ學ブベ
 シ淺學ナル余輩ノ敢テ及ブ處ニアラズ只本書ハ初學者
 ノ一讀ヲ得ハ余ノ大ニ光榮トスル所ナリ

明治二十五年三月上旬

著 者 識

選 舉 法 目 録

改正衆議院議員選舉法目錄

第一章	選舉ニ關スル區域	至自	第七一條
第二章	選舉權及被選舉權	至自	第七一條
第三章	選舉人名簿	至自	第七一條
第四章	選舉投票及投票所	至自	第七一條
第五章	投票所取締	至自	第七一條
第六章	開票及投票所	至自	第七一條
第七章	選舉會	至自	第七一條
第八章	當選人	至自	第七一條
第九章	議員ノ任期及補欠選舉	至自	第七一條
第十章	選舉訴訟及當選訴訟	至自	第七一條
第十一章	罰則	至自	第七一條

第十二章
第十三章

補

則

自第百〇四條
至第百〇一條
自第百〇一條
至第百〇二條

目 錄 終

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ衆議院議員選舉人名簿調製ニ關スル件ヲ裁可シ
茲ニ之ヲ公布セシム

御 名 御 璽

明治三十五年三月十日

內務大臣 男爵內海忠勝

勅令第四十號

明治三十三年法律第七十三號衆議院議員選舉法第十二條ニ依リ明治三十五年ニ於ケル衆議院議員選舉人名簿ノ調製ニ限リ同法第十八條乃至第二十二條第二十六條及第二十七條ノ期日及期間ヲ左ノ如ク定ム
第十八條第一項ノ選舉資格調査ノ期日ヲ四月一日トシ選舉人名簿送付ノ期限ヲ四月十五日トシ同條第二項ノ期限ヲ四月三十日トシ同條第三項ノ選舉資格調査ノ期日ヲ四月一日トシ選舉人名簿調製ノ期限ヲ四月三十日トス

第十九條ノ期限ヲ四月五日トス
第二十條ノ期間ヲ五月五日ヨリ十五日間トス
第二十六條第一項ノ期間ヲ五月二十日ヨリ六月十日迄トシ第二項ノ期限ヲ六月二十日トス
第二十七條第一項ノ期日ヲ六月二十日トス

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル衆議院議員選舉人名簿ニ關スル法律ヲ裁可シ
茲ニ之ヲ公布セシム

御 名 御 璽

明治三十五年三月十一日

外務大臣	大藏大臣	司法大臣	農商務大臣	文部大臣	內務大臣	遞信大臣	陸軍大臣	海軍大臣	內閣總理大臣
男爵	男爵	男爵	男爵	男爵	男爵	男爵	男爵	男爵	伯爵
小村壽太郎	會瀨荒助	清浦奎吾	平田東助	菊池大麓	內海忠勝	芳川顯正	兒玉源太郎	山本權兵衛	桂本權太郎

法律第十九號

明治三十五年ニ於テハ明治二十二年法律第三號衆議院議員選舉法第十八條ニ依リ選舉人名簿ヲ調製スルヲ要セス

明治三十四年四月一日調製シタル衆議院議員選舉人名簿ハ次ノ總選舉迄之ヲ据置クヘシ

明治三十三年法律第七十三號

朕帝國議會ノ協賛ヲ經タル衆議院議員選舉法改正法律ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御 名 御 璽

明治三十三年三月廿八日

外務大臣	文部大臣	陸軍大臣	內務大臣	大藏大臣	內閣總理大臣
伯爵	伯爵	伯爵	伯爵	伯爵	伯爵
芳川顯正	樺山資紀	桂太郎	西郷從道	松方正義	山縣有朋

遞信大臣
 海軍大臣
 農商務大臣
 山本權兵衛
 清浦奎吾
 會根荒助

改正 衆議院議員選舉法註釋

衆議院議員選舉法 (法律第七拾三號)

第一章 選舉ニ關スル區域

第一條 衆議院議員ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス選舉區
 及各選舉區ニ於テ選舉スベキ議員ノ數ハ別表ヲ以テ之
 ナ定ム

(註解) 衆議院議員ハ各自其選舉區ニ於テ選舉スルモノニシテ假令ハ
 甲ノ市ハ甲市ヨリ乙ノ郡ハ乙郡ニ於テ選舉スルカ如シ而シテ各選舉
 區ヨリ選舉スヘキ議員ノ數ハ定ムルニ別表ヲ以テスト云フ意ナリ

第二條 投票區ハ市町村ノ區域ニ依ル

特別ノ事情アル市町村ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ
二個以上ノ投票區ヲ設ケ又ハ數町村ノ區域ニ依リ一投
票區ヲ設クルコトヲ得
前項ノ場合ニ於テ投票ニ關シ本法ノ規定ヲ適用シ難キ
トキハ勅令ヲ以テ規定ヲ設クルコトヲ得

(註解) 投票スヘキ區域ハ市町村ノ區域ニ依ツテナスモノニシテ甲市
乙町丙村ハ各其區域ニ於テ投票ヲナスヘシ
然レモ特別ノ事情ノ存スル市町村ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ從ヒ假
令ハ一區域ニ二ヶ所又ハ數町村ヲ合シテ一投票區ヲ設クルガ如シ
右ノ場合ニ於テ投票ニ關シ此選舉法ノ規定ヲ適用シ難キトキハ勅令
ヲ以テ隨機ノ規定ヲ設クルコトガ出來ルト云ノ意ナルヘシ

第三條 町村組合ニシテ町村ノ事務ノ全部ヲ共同處理ス
ルモノハ之ヲ一町村其組合管理者ハ之ヲ町村長ト看做
ス

(註解) 本條ハ二個以上ノ町村ハ其事務ノ一部又ハ全部ヲ共同處理ス
ル爲メニ組合ヲ設クル場合ハ之ヲ一町村ト看做シ其組合ノ管理者ヲ
町村長トナシ選舉ニ關スル事務ヲ擔掌セシム

第四條 市町村長ハ投票管理者トナリ投票ニ關スル事務
ヲ擔任ス

(註解) 市長町村長等ハ其管理ニ係ル投票ノ取締ヲナシ投票ニ就テ
ノ事務ヲ身ニ引受ケテナスモノナリ

第五條 開票區ハ郡市ノ區域ニ依ル

郡市長ハ開票管理者トナリ開票ニ關スル事務ヲ擔任ス

(註解)

開票區ハ郡市ノ區域ニ依ルトハ假令ハ投票ヲ開クニハ投票ヲナシタル區域ニ依リテナスヘキモノニアラス郡又ハ市ノ區域ニ從フベシトノ意ニシテソコデ郡長又ハ市長ハ各管内ニ於テナシタル數個ノ投票函ヲ指定ノ場所ニ集メテ開票シ自ラ其取締人トナリ其事務ヲ身ニ引受ケテナスヘキモノナリ

第六條

地方長官ハ選舉長トナリ選舉ニ關スル事務ヲ統轄ス

(註解)

地方長官即チ府縣知事ハ選舉ニ關スル監督長トナリ選舉ニ就テノ事務ヲ總ヘルモノデアリマス

第七條

行政區畫ノ變更ニ因リ選舉區ニ異動ヲ生ズルモ

現任議員ハ其ノ職ヲ失フコトナシ

(註解)

行政區畫ノ變更トハ假令ハ甲選舉區ハ乾ノ府縣ノ管轄ニ屬シテ乙選舉區ノ坤ノ府縣ニ屬セシモノカ爾後政事上ノ都合ニヨリ異民等ノ府縣ノ管轄ニ變屬スルトキハ無論選舉區ニ異動ヲ生ズル場合ニ於テモ現在ノ議員ノ資格ヲ有シテ居ル者ハ決シテ議員ノ職ヲ失フノ患ヒナシ

第二章

選舉權及被選舉權

第八條

左ノ要件ヲ具備スル者ハ選舉權ヲ有ス

- 一 帝國臣民タル男子ニシテ年齡滿二十五年以上ノ者
- 二 選舉人名簿調製ノ期日前滿一年以上其選舉區内ニ住所ヲ有シ仍引續キ有スル者

三選舉人名簿調製ノ期日前滿一ケ年以上地租十圓以上

又ハ滿二年以上地租以外ノ直接國稅十圓以上若ハ地

租ト其ノ他ノ直接國稅トヲ通シテ十圓以上ヲ納メ仍

引續キ納ムル者

家督相續ニ依リ財産ヲ取得シタル者ハ其財産ニ付キ被

相續人ノ爲シタル納稅ヲ以テ其ノ者ノ納稅シタルモノ

ト看做ス

(註解)

一項ハ讀ンテ字ノ如シ

二項ハ選舉人名簿調製ノ期日ヨリ前滿一ケ年以上假令ハ明治三十四

年十月一日ヲ以テ名簿ヲ調製スルモノトスレハ明治三十三年十月一

日以前ヨリ選舉區内ニ住所ヲ有シ仍引續キ有スルモノニアラサレハ

住所ニ就テノ資格ナシ

三項ハ納稅ニ就テノ資格ノ有無ナリ假令ハ明治三十四年十月一日ヲ

以テ名簿ヲ調製スルモノトスレハ地租ニ付テハ明治三十三年十月一

日以前ヨリ十圓以上納メ來リツ、アルモノニ限ル其ノ他地租以外ノ

直接國稅拾圓以上若ハ地租ト其ノ他ノ直接國稅トヲ通シテ拾圓以上

滿二年前ヨリ納メ來リ仍引續キ即チ間斷ナク納ムル者ニ限ル

家督相續ニヨリ父又ハ兄等ノ財産ヲ取得シタルモノハ其財産ニ付先

ノ相續人即チ父又ハ兄ノ納メタル納稅ノ分ヲ以テ跡相續者即チ子弟

ノ納稅シタルモノト看做スト云フニ在リ

第九條

前條ノ要件中其年限ニ關スルモノハ行政區畫變

更ノ爲メ中斷セラル、コトナシ

(註解) 本條ノ主意ハ第八條ニ掲載ノ要件中其年限ニ關スルモノハ名簿調製後行政區畫變更スルモ該權利ヲ中途斷切セラル、コトナシトノ意ナリ

第十條 帝國臣民タル男子ニシテ年齡滿三十年以上ノ者

ハ被選舉權ヲ有ス

第十一條 左ニ掲グル者ハ選舉權及被選舉權ヲ有セズ

一 禁治產者及準禁治產者

二 身代限ノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ終ヘザル者及家資

分散若シクハ破産ノ宣告ヲ受ケ其ノ確定シタルトキ

ヨリ復權ノ確定スルニ至ル迄ノ者

三 剝奪公權者及停止公權者

四 禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタルトキヨリ其裁判確定スルニ至ル迄ノ者

(註解) 第十條ハ一目瞭然讀ンデ文字ノ如シ

第十一條第一項二項三項四項共選舉權及被選舉權ナキ者ヲ掲記ス以下一讀判明スヘシ

第一項ハ裁判所ニ於テ禁治產者及準禁治產者ノ宣告ヲ受ケタル者

第二項ハ身代限ノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ終ヘサル者トシテ家資

分散ヤ破産ノ宣告ヲ受ケタルトキハ選舉及被選ノ二權ヲ失フナリ

更ニ夫レヨリ復タヒ權利ヲ得ル迄ノ間ハ以上ノ權利ヲ有セサルナリ

第三項剝奪公權トハ左記各項ノ權ヲ剝奪スルモノニシテ停止公權ト

ハ左ノ權利ノ行使ヲ停止ス

- 公權
- 一 國民ノ特權
 - 二 官吏トナルノ權
 - 三 勳章年金位記貴號恩給ヲ有スルノ權
 - 四 外國勳章ヲ佩用スルノ權
 - 五 兵籍ニ入ルノ權
 - 六 裁判所ニ於テ證人トナルノ權但單ニ事實ヲ陳述スルハ此限ニアラス
 - 七 後見人トナルノ權但親屬ノ許可ヲ得テ子孫ノ爲メニスルハ此限リニアラス
 - 八 分散者ノ管財人トナリ又ハ會社及共有財産ヲ管理スルノ權
 - 九 學校長及教師學監ト爲ルノ權

第四項禁錮以上即チ輕禁錮重禁錮輕禁錮重禁錮等ノ刑ノ宣告ヲ受ケ其裁判ノ確定スル迄ノ者ハ假令他日無罪トナルモ差當リ現下選舉權被選舉權ナシ

第十二條

華族ノ戸主ハ選舉權及被選舉權ヲ有セズ陸海軍軍人ニシテ現役中ノ者及戰時若ハ事變ニ際シ召集中ノ者又ハ官立公立私立學校ノ學生生徒亦前項ニ同シ

第十三條

神官神職僧侶其他諸宗教師小學校教員ハ被選舉權ヲ有セズ其ノ之ヲ罷メタル後三ヶ月ヲ經過セザル者亦同シ
政府ノ爲メ請負ヲ爲ス者又ハ政府ノ爲メ請負ヲ爲ス法人ノ役員ハ被選舉權ヲ有セズ

第十四條 選舉事務ニ關係アル官吏吏員ハ其選舉區内ニ於テ被選舉權ヲ有セス其ノ之ヲ罷メタル後三ヶ月ヲ經過セザル者亦同シ

第十五條 宮内官判事檢事行政裁判所長官行政裁判所評定官會計檢査官收稅官吏及警察官吏ハ被選舉權ヲ有セス

第十四條 選舉事務ニ關係アル官吏吏員トハ府縣知事郡市長村長等ハ其選舉區内ニ於テハ選舉セラル、權ハナシ且又選舉事務ニ關係アル官職ヲ罷メタル後三ヶ月ヲ經過セザル者亦選舉權ナシ

(註解) 選舉事務ニ關係アル官吏吏員トハ府縣知事郡市長村長等ハ其選舉區内ニ於テハ選舉セラル、權ハナシ且又選舉事務ニ關係アル官職ヲ罷メタル後三ヶ月ヲ經過セザル者亦選舉權ナシ

第十六條 前條ノ外ノ官吏ハ其職務ニ妨ナキ限りハ議員ト相兼ヌルコトヲ得

第十七條 府縣會議員ハ衆議院議員ト相兼ヌルコトヲ得

(註解) 宮内官トハ宮内大臣以下宮内省ノ諸官吏ニシテ而シテ大審院以下諸裁判所ノ判檢事等ナリ又行政裁判所長官行政裁判所評定官會計檢査官收稅官吏及警察官吏等ハ選舉セラル、權ナシ

(註解) 本條ノ意義ハ前十四十五條ニ掲グル外ノ官吏即チ内閣各省ノ諸官吏ヨリ地方諸官衙ノ官吏ニシテ職務ノ妨ケノナキモノハ議員ト相兼ヌルコトが出来マス

(註解) 府縣會議員ハ衆議院議員ト相兼ヌルコトハナリマセン併シ

市會議員郡會議員等ハ相兼ヌル妨ケトハナリマセン

第三章 選舉人名簿

第十八條 町村長ハ毎年十月一日ノ現在ニ依リ其ノ町村
内ニ住所ヲ有スル者ノ選舉資格ヲ調査シ選舉人名簿正
副二本ヲ調製シ十月十五日迄ニ郡長ニ送付スベシ
郡長ハ町村長ヨリ送付シタル名簿ヲ調査シ其修正スベ
キモノハ修正ヲ如ヘ副本ハ十月三十一日迄ニ之ヲ町村
長ニ返付スベシ
市長ハ毎年十月一日ノ現在ニ依リ其市内ニ住所ヲ有ス
ル者ノ選舉資格ヲ調査シ十月三十一日迄ニ選舉人名簿
ヲ調製スベシ

選舉人名簿ニハ選舉人ノ氏名官位職業身分住所生年月
納稅額及納稅地ヲ記載スベシ

(註解) 本條ハ別ニ深キ意味アルニ非ラス一讀自ラ意義ヲ解スヘシ

第十九條 選舉人其ノ住所ヲ有スル市町村外ニ於テ直接
國稅ヲ納ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ其證明ヲ得
テ十月五日迄ニ其ノ住所地ノ市町村長ニ届出ツベシ其
期日迄ニ届出ヲ爲サルトキハ其ノ納稅ハ選舉人名簿
ニ記載セラルベキ要件ニ算入セズ

(註解) 一讀明瞭ナラン

第二十條 郡長市町村長ハ十一月五日ヨリ十五日間其廳
又ハ地方長ノ許可ヲ得タル場所ニ於テ選舉人名簿ヲ縱

覽ニ供スベシ

(註解) 郡長市町村長ハ毎年十一月五日ヨリ二十日マテ十五日間郡役所又ハ市役所町村役場若ハ府縣知事ノ許可ヲ得タル場所ニ於テ選舉人名簿ヲ自由ニ見セシムヘシトノ意ナリ

第二十一條 選舉人選舉人名簿ニ脱漏又ハ誤載アルコトヲ發見シタルトキハ其理由書及證憑ヲ具ヘテ之ヲ郡市町ニ申立ツルコトヲ得

(註解) 選舉人選舉人名簿ヲ縱覽スルニ當リ必要ノ記入スヘキ事項ヲ記載セス又ハ記入ニ誤リアルコトヲ見出シタルチキハ其理由書ト其證左トナルヘキモノ添ヘテ之ヲ郡市長ニ申立ツルコトガデキマス

第二十二條 選舉人正當ノ事故ニ因リ第十九條ノ手續ヲ

爲スコト能ハズシテ選舉人名簿ニ登録セラレザルトキ亦前條ノ例ニ依ル

第二十三條 縱覽期限ヲ經過シタルトキハ前二條ノ申立ヲ爲スコトヲ得ズ

(註解) 前條本條共註解スルノ必要ナシ讀ンテ文字ノ如シ

第二十四條 郡市長ニ於テ第二十一條第二十二條ノ申立ヲ受ケタルトキハ其理由及證憑ヲ審査シ申立テ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ヲ決定スベシ其申立ヲ正當ナリト決定シタルトキハ直ニ選舉人名簿ヲ修正シ其ノ由ヲ申立人及關係人ニ通知シ併セテ其要領ヲ告示スベシ

其申立ヲ正當ナラズト決定シタルトキハ之ヲ申立人ニ通知スベシ

前項ニ依リ名簿ヲ修正シタルトキハ郡長ハ其由ヲ本人住所地ノ町長村ニ通知スベシ

(註解) 郡市長ハ選舉人ヨリ第二十一條第二十二條ノ申立ヲ受ケタル

トキハ其ノ理由及證據ヲ取調ヘ二十日以内ニ之ヲ決定シ其ノ申立正當ナルトキハ直ニ其名簿ヲ修正シ其ノ由ヲ申立人及ヒ關係人ニ通知シ且ツ其修正シタル譯柄ヲ告示スヘシト云フニアリ

第二十五條 前條郡市長ノ決定ニ不服アル申立人及關係

人ハ郡市長ヲ被告トシ決定ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ七日以内ニ地方裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項地方裁判所ノ決定ニ對シテハ控訴スルコトヲ許サズ但大審院ニ上告スルコトヲ得

第二十六條 町村長ハ十一月二十日ヨリ十二月十日迄ノ

間ニ其ノ管理ニ屬スル選舉人名簿ヲ郡長ニ送付スベシ前項ノ名簿ノ送付ヲ受ケタル郡長ハ之ヲ調査シ其ノ修正スベキモノハ修正ヲ加ヘ十二月二十日迄ニ之ヲ町村長ニ返付スベシ

(註解) 第二十五條ノ意義ハ郡長又ハ市長ノ決定ヲ満足セヌ者ハ決定

ノ知ラセテ受ケタル日カシ七日ノ内ニ地方裁判所へ訴へ出ヅルコトカ出來ル但シ地方裁判所ノ決定ニ對シテハ控訴スルコトが出來ヌケレドモ大審院へ上告ガデキマス

決定トハ原被両造辨論ヲ用セズ郡市長ナリ裁判所ガ自由ニキメル
コトナリ

第二十六條ノ意義ハ町村長タルモノハ毎年十一月二十日ヨリ十二月十日迄ノ間ニ自己ノ支配スル町村ノ選舉人ノ名簿ヲ郡長ヘ送ルベシトナリ

又此名簿ノ送付ヲ受ケタル郡長ハ能ク取調ベテナシ若シ直ス處アレバ之ヲ直シ十二月二十日迄ニ元ノ送付シ來リタル町村長ヘ返ヘスノデアリマス

第二十七條 選舉人名簿ハ十二月二十日ヲ以テ確定ス

選舉人名簿ハ次年ノ選舉人名簿確定ノ日マデ之ヲ据置クベシ但シ確定判決ニ依リ修正スベキモノハ郡市長ニ於テ直ニ之ヲ修正シ其ノ要領ヲ告示スベシ

前項ニ依リ名簿ヲ修正シタルトキハ郡長ハ其ノ由ヲ本人住所地ノ町村長ニ通知シ副本ヲ修正セシムベシ

天災事變其ノ他ノ事故ニ因リ必要アルトキハ更ニ選舉人名簿ヲ調製スベシ

前項選舉人名簿ノ調製及其ノ期日縦覽確定ニ關スル期日期間等ハ命令ノ定ムル處ニ依ル

(註解) 選舉人名簿ハ毎年十二月二十日ヲ以テ確定スルモノユヘ選舉人名簿ニ對シ異議アルモノハ成ルベク名簿確定前ニ申立テナシ修正ヲ乞フベシ本年ノ選舉人名簿ハ來年ノ十二月二十日マデ必ズスエ置クモノトス

天災事變トハ震災火災又ハ其他不意ノ出來事ノ爲メ選舉名簿ヲ亡失

シタル場合ニヨリ必要アルトキハ更ニ名簿ヲ調製セ子バナラヌ
 前項天災事變ノ爲メ更ニ名簿ヲ調製スル場合ニハ名簿調製ニ就キ其
 期日縦覽確定ニ就キ期日期間等其際特ニ命令アルベキニヨリ此命令
 ニ從フベシ

第四章 選舉投票及投票所

第二十八條 總選舉ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定メ少ナク
 トモ三十日前ニ之ヲ公布ス

第二十九條 選舉ハ投票ニ依リ之ヲ行フ
 投票ハ一人一票ニ限ル

第三十條 投票所ハ市役所町村役場又ハ地方長官ノ許可
 ナ得テ投票管理者ノ指定シタル場所ニ之ヲ設ク

(註解) 第二十八條ノ規定ノ主意ハ總選舉ノ期日ハ勅令ヲ以テ定ムベ
 キモノニシテ少ナクトモ期日ヨリ三十日前ニ之ヲ全國ニ知ラシムル
 モノデアアル第二十九條選舉ノ方法ハ一定セルモノニシテ即チ投票ニ
 依リテナスモノト定メラレテアル而シテ選舉人一人ニ付一票ニ限ル
 モノナレバ勿論一人ニテ二票ヲ用ヒ二人ヲ選舉スルコトハ出來ザル
 ナリ

第三十條ハ投票スベキ場所ヲ規定セルモノニシテ其一定場所ハ市役
 所町村役場又ハ府縣知事ノ許可ヲ得テ投票管_理者即チ市町村長ノ指
 定スル學校トカ寺院トカ其際定メラレタル場所ニ於テスベシトナリ

第三十一條 投票管理者ハ選舉ノ期日ヨリ少ナクトモ五
 日前ニ投票所ヲ其ノ投票區内ニ告示スベシ

(註解) 市町村長ハ選舉ヲナス日ヨリ少ナクトモ五日前ニ何月何日何

所ニ於テ投票スベシトノ知ラセテ管内スベシトナリ

第三十二條 郡市長ハ各投票区内ニ於ケル選舉人中ヨリ三名以上五名以下ノ投票立會人ヲ選任シ選舉ノ期日ヨリ少ナクトモ三日前ニ之ヲ本人ニ通知シ選舉ノ當日投票所ニ參會セシムベシ
投票立會人ハ正當ノ事故ナクシテ其職ヲ辭スルコトヲ得ズ

(註解) 投票立會人ハ三名以上五名以下ノ範圍内ニ於テ郡市長ハ之ヲ選任シ投票期日ヨリ少ナクトモ三日前ニ本人ニ通知シ投票ノ當日投票所ニ時間ニ後レザル様參會セシムベシ
投票立會人ニ選任セラレタルモノハ病氣トカ又ハ他ノ公職ノ爲メト

カ止ムヲ得ザル正當ノ事故ナキ以上ハ其選任ヲ辭スルコトハナリマセン

第三十三條 投票所ハ午前七時ニ開キ午後六時ニ閉ヅ

第三十四條 選舉人ハ選舉ノ當日自ラ投票所ニ到リ選舉

人名簿ノ對照ヲ經テ投票簿ニ捺印シ投票スベシ
投票管理者ハ投票ヲ爲サントスル選舉人ノ本人ナルヤ否ヲ確認スルコト能ハザルトキハ其本人ナル旨ヲ宣言セシムベシ其宣言ヲ爲サル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ズ

(註解) 第三十三條ハ一讀明瞭ナルベシ
第三十四條選舉ハ他人ヲ以テ代理セシムルコトヲ得ズ必ス當日日本人

自ラ投票所ニ到リ自己ノ姓名ヲ申立テ名簿ト照シ合セテ受ケ投票簿ニ實印ヲ押シ然ル後投票スベシ
投票管理者投票セントスル選舉人ノ顔ヲ知ラズ依ツテ本人デアるか人違ヒナルカヲ確カニ認メ難キトキハ其者ニ對ツテ本人デアルト云フコトヲ明カニ言ハシムベシ若シ言ハザルモノハ選舉スルコトハナラヌ

第三十五條 投票用紙ハ選舉ノ當日投票所ニ於テ之ヲ選

舉人ニ交付スベシ

(註解) 投票用紙ハ一定スルモノナレバ各自勝手ノ用紙ヲ用ユルコトヲ許サズ且ツ前以テ渡シオクモノニアラズ選舉ノ當日投票所ニ於テ選舉人ニ渡スモノトス

第三十六條 選舉人ハ投票所ニ於テ投票用紙ニ自ラ被選

舉人一名ノ氏名ヲ記載シテ投函スベシ

投票用紙ニハ選舉人ノ氏名ヲ記載スルコトヲ得ズ

(註解) 選舉人ハ他人ヲシテ選被選舉人ノ姓名ヲ投票用紙ニ代書セシムルコトヲ得ズ自カラ書クベキモノナリ且ツ選舉人ハ投票用紙ニ被選舉人ノ姓名ノ外自己ノ姓名ヲ書クコトハナラヌ

第三十七條 選舉人名簿ニ登録セラレザル者ハ投票スル

コトヲ得ズ但シ選舉人名簿ニ登録セラルベキ確定判決書ヲ所持シ選舉ノ當日投票所ニ到ルモノアルトキハ投票管理者ハ之ヲシテ投票セシムベシ

(註解) 選舉人名簿ニ姓名ノ登録ニ漏レタルモノハ選舉スルコトガデキヌ但シ名簿ニ登録セラルベキ判決書ヲ所持スル者ハ此限ニアラズ

第三十八條

選舉人名簿ニ登録セラレタル者選舉權ヲ有

セザルトキハ投票ヲナスコトヲ得ズ

自ラ被選舉人ノ氏名ヲ書スルコト能ハザル者亦前項ニ同シ

(註解)

假令ハ選舉人名簿ニ登録セラルトモ選舉權ナキ者誤ツテ登録

セルカ選舉權ヲ亡失セルカ何レニセヨ現在ニ於テ選舉權ヲ有セサル

モノハ投票ヲナスコトガデキヌ又被選舉人ノ氏名ヲ自ラ書スルコト

能ハザル者モ投票スルコトガデキヌ

第三十九條

投票ノ拒否ハ投票立會人ノ意見ヲ聽キ投票

管理者之ヲ決定スベシ

前項ノ決定ヲ受ケタル町村ノ選舉人不服アルトキハ投

票管理者ハ假ニ投票ヲ爲サシムベシ

前項ノ投票ハ選舉人ヲシテ之ヲ封筒ニ入レ封緘シ表面

ニ其ノ氏名ヲ記載シ投函セシムベシ

第一項ニ掲クル者ニ於テ異議アル町村ノ選舉人ニ對シ

テモ亦前二項ニ同シ

(註解)

本條第一項ノ意義ハ投票ヲ許スヤ拒ムヤニ付テハ投票管理者

ハ投票立會人ノ意見ヲ聽キテ決ス

二項ハ第一項ノ決定ヲ受ケタルモノニシテ不服アルトキハ投票管理

者ハ假ニ投票ヲ爲サシムベシ

三項ハ第二項ノ投票ニ就テハ他ノ投票ト區別スル爲メ之ヲ封筒ニ入

レ封緘ノ上投函セシムルナリ

第四十條 投票所ヲ閉ツベキ時刻ニ至リタルトキハ投票
 管理者ハ其ノ由ヲ告ケテ投票所ノ入口ヲ鎖シ投票所ニ
 在ル選舉人ノ投票結了スルヲ待テ投票函ヲ閉鎖スベ
 シ

投票函閉鎖後ハ投票スルコトヲ得ズ

(註解) 本條ハ閉鎖ノ時刻至レバ投票所ヲ閉ヂシメ投票スルヲ得ザラ
 シムルトノ意ナリ

第四十一條 投票管理者ハ投票録ヲ作り投票ニ關スル顛
 末ヲ記載シ投票立會人ト共ニ之ニ署名スベシ

第四十二條 町村ニ於テハ投票管理者ハ一名又ハ數名ノ
 立會人ト共ニ投票ノ翌日迄ニ投票函投票録及選舉人名

簿ヲ開票管理者ニ送致スベシ

(註解) 投票管理者ハ投票録ナル簿冊ヲ備ヘ置キ投票ニ付テノ各種事
 項ヲ詳記シ投票立會人ト共ニ署名スルモノトス

第四十二條ハ投票ノ翌日投票管理者ハ立會人一名又ハ數名ト共ニ投
 票函投票録選舉人名簿等ヲ開票管理者タル郡長ニ送ルベシ

第四十三條 島嶼其他交通不便ノ地ニシテ前條ノ期日ニ

投票函ヲ送致スルコト能ハザル情況アルトキハ地方長
 官ハ適宜ニ其ノ投票ノ期日ヲ定メ開票ノ期日迄ニ其ノ

投票函投票録及選舉人名簿ヲ送致セシムルコトヲ得

第四十四條 天災其他避ベカラザル事故ニ因リ投票ヲ行
 フコトヲ得ザルトキ又ハ更ニ投票ヲ行フノ必要アルト

キハ投票管理者ハ選舉長ニ其ノ由チ届出ツベシ此場合ニ於テハ選舉長ハ更ニ期日ヲ定メ投票ヲ行ハシムベシ但シ其期日ハ少ナクトモ五日前ニ投票區内ニ告示セシムベシ

(註解) 本條第四十二條規定ノ投票ノ翌日開票所ニ投管函及投票ニ關

スル必要ナル書類ヲ送致スル能ハサル情况アル島嶼等ノ選舉ニ對シテハ地方長官ハ適宜ニ投票期日ヲ定メ開票ノ期日迄ニ書類ノ送致ヲナサシムルコトガ出來ルトノ規定デアリマス

第四十四條ノ意義ハ水火其他疫病等避クベカラザル事故ノタメ投票ヲ行フコトヲ得ザルカ又ハ先キニ行フタル投票ノ無効ニ歸シタルニヨリ更ニ投票ヲ行フノ必要アルトキハ選舉長ハ投票管理者ノ届出ヲ待テ投票期日ヲ定メ投票ヲ行ハシムベシ

第四十五條 同一選舉區ニ於テ同時ニ二以上ノ議員ヲ選舉スルトキハ選舉ノ種類如何ニ不拘第二十九條及第三十六條ノ例ニ依ル

第四十六條 何人ト雖モ選舉人ノ投票シタル被選舉人ノ氏名ヲ陳述スルノ義務ナシ

(註解) 第四十五條ハ同一ノ選舉區ニ於テ同時ニ二人以上ノ議員ヲ選舉スルトキハ選舉ノ種類如何ニ不拘第二十九條及第三十六條ノ例ニ依ルベシトノ規定ナリ假令ハ甲ノ選舉區ニ於テ同時ニ二人三人ノ議員ヲ選舉スル場合ニハ總選舉又ハ補闕選舉ヲ問ハズ第二十九條及第三十六條ノ規定ニ依リ選舉スベシトノ意ナリ

第四十六條ノ意義ハ何人タリトモ選舉人が選舉シタル被選舉人ノ名前ヲ陳ブル義務ハナイト云フノ意ナリ

第五章 投票所取締

投票所取締

第四十七條 投票管者ハ投票所ノ秩序ヲ保持シ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ請求スルコトヲ得

第四十八條 選舉人投票所ノ事務ニ從事スル者投票所ヲ監視スル職權ヲ有スル者及警察官吏ノ外投票所ニ入ルコトヲ得ズ

(註解) 前二條トモ取締ニ關スル規定ニシテ一讀明瞭ナルベシ

第四十九條 投票所ニ於テ演說討論ヲ爲シ若ハ喧騒ニ涉リ又ハ投票ニ關シ協議若シクハ勸誘ヲナシ其他投票所ノ秩序ヲ紊ル者アルトキハ投票管者ハ之ヲ制止シ命ニ

從ハザルトキハ之ヲ投票所外ニ退出セシムベシ

(註解) 投票所ニ於テ演說討論ヲナシ又ハ協議若シクハ勸誘ヲナシタレバトテ敢テ犯則者視スルモノニアラズ若シガヤノト喧シクシ秩序ヲ紊ル場合ニハ管理者之ヲ制止スルナリ制止ニ從ハザルニ於テハ投票所外ニ退出セシム

第五十條 前條ニ依リ投票所外ニ退出セシメラレタル者ハ最後ニ至リ投票ヲ爲スコトヲ得但投票所閉鎖後ハ此限リニアラズ

(註解) 本條ノ意義ハ前條管理者ノ制止ヲ聞カズ退出セラレタル者ハ最後ニアラザレバ投票スルコトヲ得ザル旨ヲ規定ス

第六章

開票及投票所

第五十一條 開票所ハ郡市役所又ハ地方長官ノ許可ヲ得

テ開票管理者ノ指定シタル場所ニ之ヲ設ク

第五十二條 開票管理者ハ豫メ開票所ヲ告示スベシ

第五十三條 地方長官ハ各開票所區内ニ於ケル選舉人中

ヨリ三名以上七名以下ノ開票立會人ヲ選任シ開票ニ立

會ハシムベシ但市ニ於テハ投票立會人ヲ以テ開票立會

人トス

開票立會人ハ正當ノ事故ナクシテ其職ヲ辭スルコトヲ

得ズ

(註解) 第五十一條第五十二條第五十三條トモ別ニ注解ヲ施スベキ處

ナシ讀ンデ字ノ如シ

第五十四條 開票管理者ハ郡ニ於テハ投票函ノ總テ到達

シタル翌日市ニ於テハ投票ノ翌日開票立會人立會ノ上

投票函ヲ開キ投票ノ總數ト投票人ノ總數トヲ計算スベ

シ

(註解) 本條ハ開票ニ關スル規定ニシテ郡ニ於テハ自然投票所ヨリ開

票所マデ遠キ處モアルベシ故ニ投票函到達ノ翌日開票ニ着手スベキ

モ市ニ於テハ投票ノ翌日直ニ開票スベシトナリ

第五十五條 前條ノ計算終リタルトキハ開票管理者ハ先

第三十九條第二項及第四項ノ投票ヲ調査シ開票立會人

ノ意見ヲ聞キ其受理如何ヲ決定スベシ

開票管理者は各投票所の投票を混同シ開票立會人と共

に投票を點檢すべし

(註解) 選舉人ノ數ト投票數トノ計算ヲ終リタル後第三十九條ノ假ニ投票ナサシメタル疑問投票ニ付キ開票立會人ノ意見ヲ聽キ其受理如何ヲ開票管理者ハ之ヲ決定スベシトナリ又甲乙丙丁等各投票ヲ打交テ開票立會人ト共ニ投票ノ數ヲ調ヘルナリ

第五十六條 選舉人ハ其開票所ニ就キ開票ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得

第五十七條 投票ノ効力ハ開票立會人ノ意見ヲ聽キ開票管理者之ヲ決定スベシ

第五十八條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス
一 成規ノ用紙ヲ用ヒザルモノ

二 一投票中二人以上ノ被選舉人ヲ記載シタルモノ

三 被選舉人ノ何人タルヲ確認シ難キモノ

四 被選舉權ナキ者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

五 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記載シタルモノ但官位職業身分住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此限リニアラズ

(註解) 第五十六條及第五十七條第五十八條共解釋ヲ用ヒズ一讀了解セン第五十八條第五項ノ但書中官位トハ正從何位等ノ如ク職業ト何官、辯護士、何業ト云フ如シ身分トハ華士族平民ノ類ナリ敬稱トハ閣下公君殿様等ノ如シ

第五十九條 投票ハ有効無効ヲ區別シ議員ノ任期間開票

管理者ニ於テ之ヲ保存スベシ
 第六十條 開票管理者ハ開票録ヲ作り開票ニ關スル顛末
 ナ記載シ開票立會人ト共ニ署名シ投票録ト併セテ議員
 ノ任期間之ヲ保存スベシ
 第六十一條 投票ノ點檢終リタルトキハ開票管者ハ直ニ
 其結果ヲ選舉長ニ報告スベシ
 (註解) 前三條トモ一讀意義自ラ明瞭ナラン
 第六十二條 第四十四條ノ規定ハ但書ヲ除キ開票ニ之ヲ
 準用ス
 第六十三條 開票所ノ取締ニ付テハ第五章ノ規定ヲ準用
 ス

336840

(註解) 此二條モ解釋ヲ用ヒ一讀自ラ明カナラン準用トハ準據シ用ユ
 ルトノ意ナリ即チ第四十四條ノ但書ヲ除キ其他ハ第六十二條ニ引援
 シテ之ヲ用ヒ又第五章ノ投票所取締ノ規定ハ第六十三條ノ開票取締
 ニ準ジテ用ユルナリ

第七章 選舉會

第六十四條 選舉會ハ選舉長ノ指定シタル場所及日時ニ
 於テ之ヲ開キ第六十一條ノ報告書ヲ調査ス選舉ノ一部
 無効トナリ更ニ選舉ヲ行ヒタル場合ニ於テ第六十一條
 ノ報告ヲ受ケタルトキハ選舉長ハ選舉會ヲ開キ他ノ開
 票管理者ノ報告書ト共ニ更ニ之ヲ調査スベシ
 (註解) 選舉會ナルモノハ先キニ選舉長ヨリ指定シタル場所及日時即

于何月何日午前第何時ヨリ午後第何時迄ニ何處ニ於テ開クト云フガ如シ第六十一條ノ報告書トハ開票管理者ヨリ投票點檢ノ結果ヲ選舉長ニ送致シタル報告書ナリ又選舉ノ一部無効トハ數個ノ投票所即チ甲乙丙等ノ投票所ノ内甲又ハ乙ノ一ヶ所ノ投票チナスモノナリ

第六十五條 選舉長ハ豫メ選舉會ノ場所及日時ヲ告示スベシ

第六十六條 選舉長ハ各選舉區内ノ選舉人中ヨリ三名以上七名以下ノ選舉選立會人ヲ選任シ選舉會開會ノ期日ヨリ少クトモ三日前ニ之ヲ本人ニ通知シ選舉會ノ當日選舉會ニ參觀セシムベシ

選舉立會人ハ正當ノ事故ナクシテ其職ヲ辭スルコトヲ

得ズ

第六十七條 選舉長ハ選舉錄ヲ作り選舉會ニ關スル顛末ヲ記載シ選舉立會人ト共ニ署名シ第六十一條ノ報告書ト併セテ議員ノ任期間之ヲ保存スベシ

(註解) 第六十五條以下本條ニ至ル三條中規定タルヤ前條中詳細解釋セシ條項ト其意大同小異ナレバ茲ニ註解ヲ省ク

第六十八條 選舉人ハ其選舉會ニ參觀ヲ求ムルコトヲ得

第六十九條 選舉會場ノ取締ニ付テハ第五章ノ規定ヲ準用ス

(註解) 第六十八條及本條トモ前條投票ニ關スル規定ノ註解ニ於テ見ヘタレバ之ヲ略ス

第八章

當選人

第七十條 有効投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選人トス但シ其選舉區内ノ議員定數ヲ以テ選舉人名簿ニ記載セラレタル者ノ總數ヲ除シテ得タル數ノ五分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス

前項ノ當選人ニシテ當選證書付與前ニ於テ其ノ當選ヲ辭シ若ハ死亡シタルトキ又ハ當選證書付與ノ前後ヲ問ハズ選舉ニ關スル罰則ニ依リ處罰セラレタル結果當選無効トナリタルトキ又ハ被選舉權ヲ有セザル爲メ當選無効トナリタルトキハ前項ノ得票者ニシテ當選人ト爲

ラザリシ者ノ中ニ就キ得票ノ順位ニ依リ之ヲ補充ス前項ノ場合ヲ除クノ外選舉訴訟若ハ當選訴訟ノ結果ニ依リ必要ナルトキハ本條ノ例ニ依リ更ニ當選人ヲ定ム

第七章ノ規定ハ前二項ノ場合ニ於テモ亦之ヲ適用ス

本條ニ依リ當選人ヲ定ムルニ當リ得票ノ數相同シキトキハ年長者ヲトリ同年月ナルトキハ抽籤シテ其順位ヲ定ム

(註解) 本條第一項ノ意義ハ有効投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選人ト定ムルトノ意ナリ然レモ其ノ選舉區内ノ議員ノ定數(甲選舉區ノ議員ノ數ハ一名トカニ名トカ云フ如シ)ヲ以テ選舉人名簿ニ記載セラレタル者ノ總數ヲ除シテ得タル數ノ五分一以上ノ得票アルヲ要

スルモノトスルガ故假令一選舉區内ノ選舉人名簿ニ記載セラレタル者ノ總數ハ一万二千人ニシテ同區内ノ議員ノ定數ヲ六人トスレバ六人ヲ以テ一万二千ヲ除スルトキハ二千トナル二千ノ五分ノ一ハ四百ナル故右ノ場合ニ於テ當選人タラント欲セバ必ズ一名ニ付四百票以上ノ投票ヲ要スルナリ

二項ノ末文中前項ノ得票者ニシテ當選人ト爲ラザリシ者ノ中ニ就キ得票ノ順位ニ依リ之ヲ補充ストアリ此得票ノ順位ニ依リ之ヲ補充ストハ假令ハ前項ノ場合ニ於テ最多數ヲ得タル者ヲ二千票トシ以下一千八百。一千五百。一千二百。八百。七百。六百。四百八十票トセヨ此内第三番ニ當ル一千五百ノ得票者ニシテ當選無効トナリタル場合ニハ得票中先キニ六人中ニ入ラザリシ七番目ニ當ル四百八十票ヲ得タルモノ一段操リ上テ當選人トナルナリ

第三項四項五項ハ讀ンデ文字ノ如シ

第七十一條 當選人定マリタルトキハ選舉長ハ直ニ之ヲ當選人ニ告知スベシ

第七十二條 當選人當選ノ告知ヲ受ケタルトキハ其當選ヲ承諾スルヤ否ヤヲ選舉長ニ届出ツベシ

一人ニシ數選舉區ノ當選ヲ承諾スルコトヲ得ズ

第七十三條 當選人當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ當選承諾ノ届出ヲ爲サザルトキハ其當選ヲ辭シタルモノト看做ス

(註解) 前三條讀ンデ文字ノ如シ

第七十四條 當選人ナキトキハ地方長官ハ選舉ノ期日ヲ定メ豫メ之ヲ告示シ更ニ選舉ヲ行ハシムベシ

當選人議員ノ定數ニ達セザルトキハ地方長官ハ前項ノ例ニ依リ其不足ノ員數ニ對シ選舉ヲ行ハシムベシ

第七十條第二項及第三項ノ場合ニ於テ當選人ナキトキハ亦前二項ニ同シ

第八十條及第八十二條ノ出訴期間ハ本條ノ選舉ヲ行フコトヲ得ズ其出訴アリタルトキ裁判確定スルニ至ルマデノ間亦同シ

(註解) 本條ハ一旦選舉ヲナシタルニ選ニ當ル人ナキ場合ニ於テ更ニ選舉ヲ行ハシムル規定ナリ詳細ハ本文ニ依リ明ケン

第七十五條 當選人當選ヲ承諾シタルトキハ地方長官ハ直ニ當選證書ヲ付與シ其氏名ヲ管内ニ告示シ且之ヲ内

務大臣ニ報告スベシ

(註解) 當選人ハ選舉長ヨリ當選ノ告知ヲ受ケ二十日以内ニ當選ノ承諾ノ届出ヲナシタルトキハ府縣知事ハ直ニ當選證書ヲ渡シ其ノ姓名ヲ管内ニ告示シ且之ヲ内務大臣ニ報告スルモノトス

第七十六條 選舉訴訟若ハ當選訴訟ノ判決ニ依リ選舉若ハ當選無効トナリタルトキ又タハ當選證書ヲ付與シタル後選舉ニ關スル罰則ニ依リ處罰セラレタル結果當選無効トナリタルトキハ地方長官ハ其當選證書ヲ取消シ之ヲ管内ニ告示スベシ

(註解) 本條ハ訴訟ノ爲メ選舉ノ無効トナリタルトキ或ハ當選ノ無効ニ歸シタルトキ等ハ其當選證書ヲ取消スモノトセリ

第九章

議員ノ任期及補闕選舉

第七十七條

議員ノ任期ハ總選舉ノ期日ヨリ四ケ年トス
但議會開會中ニ任期終ルモ閉會ニ至ル迄在任ス

第七十八條

選舉ノ日ヨリ一ケ年以内ニ議員ノ補闕ヲ生
シタルトキハ第七十條ノ例ニ依ル

前項ノ場合ニ於テ當選人ナキトキ又ハ選舉ノ日ヨリ一
ケ年以後ニ議員ノ闕員ヲ生シタルトキハ地方長官ハ內
務大臣ノ命ニ依リ其ノ命ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内
ニ補闕選舉ヲ行フベシ

前項ノ補闕選舉ノ期日ハ地方長官豫メ之ヲ告示スベシ

(註解)

第七十七條ハ議員ノ任期ヲ四ケ年ト定メラレタリ但シ都合ニ
ヨリ四ケ年ヲ過クルトモ當時議會開會中ニ屬スルトキハ尙閉會ニ至
ルマデ在任スルモノトノ例外ヲ規定ス

第七十八條ハ選舉ノ日ヨリ一ケ年以内ニ議員ニ闕員ヲ生ズルトキハ
第七十條ノ例ニ依リ規定ノ得票ヲ有スル者ヲ以テ當選人ヲ定メマス
然レド議員ノ闕員ヲ生シタルトキニ於テ選舉ノ日ヨリ一ケ年以後ニ
沙ルトキ又ハ當選人ナキ場合ニハ地方長官ハ內務大臣ノ命ニヨリ
受命ノ日ヨリ二十日以内ニ補闕選舉ヲ行フモノトス

第七十九條

補闕選舉ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス

(註解)

補闕選舉トハ數人ノ議員ノ中ニテ一名若ハ二名三名等欠ケタ
ル場合ヲ云フ此場合ニ於テ其欠ケタル分チ一名ナリ二名ナリ不足チ
補フノ選舉ヲナスナリ此補闕ノ選ニ當リタルモノハ前任者ノ勤メタ

ル残りノ期間在任スルモノニシテ假令ハ四年ノ中前任者一年半在任
シテ辭任シタルモノトスレバ後任者残り二年半在任スルモノトス

第十章

選舉訴訟及當選訴訟

第八十條

選舉ノ効力ニ關シ異議アル選舉人ハ選舉長ヲ

被告トシ選舉ノ日ヨリ三十日以内ニ控訴院ニ出訴スル

コトヲ得

前項控訴院ノ判決ニ不服アル者ハ大審院ニ上告スルコ

トヲ得

(註解)

本條選舉ノ効力ニ關シ異議アルトハ選舉ハ無効デアルトカ其

方法ハ選舉法ニ違背スルトカ其他種々異議ヲ申立ツルナリ此場合ニ

ハ選舉人ハ選舉長ヲ被告トシ選舉ノ日ヨリ三十日以内ニ其筋へ出訴

スルコトガデキルト定メタリ

第八十一條

選舉規定ニ違背スルコトアルトキハ當選ノ

結果ニ異動ヲ及ボスノ虞アル場合ニ限り裁判所ハ其ノ

選舉ノ全部若ハ一部ノ無効ヲ判決スベシ

當選訴訟ニ於テモ其選舉前項ノ場合ニ該當スルトキハ

裁判所ハ其ノ全部若ハ一部ノ無効ヲ判決スベシ

(註解)

選舉ノ規定ニ單ニ違背スルモ當選ノ結果ニ異動ヲ生ズルノ虞

ナケレバ裁判所ハ選舉ノ全部若ハ一部ノ無効ノ判決ナスコトナシ要

スルニ當選ノ結果ニ異動ヲ生ズルノ虞アル場合ニ限り選舉ノ全部又

ハ一部ノ無効ヲ判決スルコトアルベシ當選訴訟ノ場合ニ於テモ前項

ニ該當スルトキハ前項ト同様ノ判決ヲナスナリ

第八十二條

當選ヲ失ヒタル者當選ノ効力ニ關シ異議アルトキハ當選人ヲ被告トシ第七十五條ノ氏名告示ノ日ヨリ三十日以内ニ控訴院ニ出訴スルコトヲ得但第七十條第一項但書ニ定メタル得票ニ達シタリトノ理由ニ由リ出訴スル場合ニ於テハ選舉長ヲ被告トシ第七十四條ノ告示ノ日ヨリ三十日以内ニ出訴スベシ
前項控訴院ノ判決ニ不服アル者ハ大審院ニ上告スルコトヲ得

(註解)

本條ハ當選ヲ失ヒタル者當選ノ効力ニ關シ異議アル場合ニ於テ出訴スルニ當リ第七十條第一項ノ場合ト第七十五條ノ場合トニヨリ被告ヲ異ニスル旨ヲ規定スルナリ

第八十三條

裁判所ハ選舉訴訟若ハ當選訴訟ヲ裁判スルニ當リ檢事ヲシテ口頭辯論ニ立會ハシムベシ

(註解)

選舉訴訟若ハ當選訴訟トハ第八十二條文中ニ規定スルモノ若ハ第七十條第一項但書ニ定メタル得票ニ達シタリトノ理由ニ由リ出訴スル等ノ場合トス

第八十四條

裁判所ニ於テ選舉訴訟若ハ當選訴訟ヲ判決シタルトキハ其ノ判決書ノ謄本ヲ內務大臣ニ送付スベシ若帝國議會開會中ナルトキハ併セテ之ヲ衆議院議長ニ送付スベシ

(註解)

本條ノ訴訟ヲ判決シタルトキハ其ノ判決書ノ寫シヲ內務大臣及衆議院議長ニ送付セザルベカラズ何トナレバ出訴ノ勝敗トモ內務

大臣及衆議院議長ニ對シ報告ノ必要アルヲ以テナリ

第八十五條

原告人ハ訴狀ヲ提出スルト同時ニ保證金トシテ三百圓又ハ之ニ相當スル額面ノ公債證書ヲ供託スベシ

原告人敗訴ノ場合ニ於テ裁判確定ノ日ヨリ七日以内ニ裁判費用ヲ完納セザルトキハ保證金ヲ以テ之ニ充當シ仍足ラザルトキハ之ヲ追徴ス

(註解) 本條ハ選舉訴訟當選無効訴訟提起スル者ハ同時ニ保證金ヲ若ハ公債證書ヲ供託所ニ供託スベキコトヲ規定ス

第十一章 罰則

第八十六條

詐僞ノ方法ヲ以テ選舉人名簿ニ登錄セラレ

タル者又ハ第三十四條第二項ノ場合ニ於テ虛僞ノ宣言ヲ爲シタルモノハ十圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

(註解) 選舉資格ナキ者詐リテ資格アル者ノ如ク申立ナシ名簿ニ登錄セラレタルモノ又ハ第三十四條第二項ノ場合即チ選舉人ノ本人ナルヤ否ヤ確認スルコト能ハザルトキ投票管理者ハ其本人ナル旨ヲ宣言セシムルニ當リ本人ニアラザル者僞リテ本人ナリト虛言ヲ吐キタルモノハ本條ノ規定ニ依リ處罰セラルベシ

第八十七條

選舉ノ前後ヲ問ハズ左ノ各號ニ該當スル所

爲アル者ハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ十圓

以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

一選舉ニ關シ直接又ハ間接ニ金錢物品手形其他ノ利益

若ハ公私ノ職務ヲ選舉人又ハ選舉運動者ニ供與シ又ハ供與センニトヲ申込ミタル者又ハ供與若ハ申込テ承諾セシコトヲ周旋勸誘シタル者並供與ヲ受ケ若シクハ申込テ承諾シタル者

二選舉ニ關シ酒食遊覽等其ノ方法及名義ノ何タルヲ問ハズ人ヲ饗應接待シ又ハ饗應接待ヲ受ケタル者又ハ選舉會場開票所ニ往復スル爲メ船車馬ノ類ヲ供給シ及其供給ヲ受ケタル者又ハ旅費若ハ休泊料ノ類ヲ代辨シ及其ノ代辨ヲ受ケタル者並此等ノ約束ヲ爲シ又ハ約束ヲ受ケタル者

三選舉ニ關シ選舉人又ハ其ノ關係アル社寺學校會社組合市町村等ニ對スル用水小作債權寄附其他利害ノ關係ヲ利用シ選舉人ヲ誘導シタル者及其誘導ニ應ジタル者

前項ノ場合ニ於テ其ノ收受シタル物件ハ之ヲ設收シ既ニ費用シタル者ハ其ノ價ヲ追徴ス

(註解) 本條第一項第二項及第三項共選舉ニ關シ本條規定違反者ニ擬スル罰則ニシテ各項ニ該當スル所爲ハ選舉ノ前後ヲ論ゼズ一月以上一年以下ノ輕禁錮又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處セラル、モノナリ但シ犯則ノ所爲アリシ時ヨリ六月ヲ經過セバ時効ニ罹ル

第八十八條 左ノ各號ニ該當スル者ハ二月以上二年以下

ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス
 一選舉ニ關シ選舉人ニ暴行脅迫ヲ加ヘ若ハ之ヲ拐引シタル者
 二選舉人ニ對シ往來ノ便ヲ妨ゲ又ハ詐僞ノ手段ヲ以テ選舉權ノ行使ヲ妨害シ若ハ投票ヲ爲サシメタル者
 三選舉ニ關シ選舉人又ハ其ノ關係アル社寺學校會社組合市町村等ニ對スル用水小作債權其ノ他利害ノ關係ヲ利用シ選舉人ヲ威迫シタル者
 (註解) 本條各號ニ該當スル者ハ前條ニ比シ大ニ重刑ニ處セラルベシ何トナレバ前條各號ノ所爲タルヤ選舉人ニ對シ意志ノ自由又ハ身体ノ自由ヲ羈束スルノ行爲ニアラズ單ニ選舉人ノ歡心ヲ需ル爲メ物品

又ハ利益ヲ供給シ又ハ酒食遊覽車馬等ノ便利又ハ一時ノ快樂ヲ與フルノ所爲ニ止マリ本條ノ如キ最モ忌ハシキ暴行脅迫詐欺妨害威嚇等他人ノ身体并ニ意志ノ自由ヲ妨壓スルノ非行ニ對シテハ本條ノ處罰ニ擬スル亦當然トス

第八十九條

選舉事務ニ關係アル官吏吏員立會人及監視

者選舉人ノ投票シタル被選舉人ノ氏名ヲ表示シタル者

ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス其ノ表示シタル事實虛偽ナルトキ亦同

第九十條

投票所又ハ開所票ニ於テ正當ノ事由ナクシテ

選舉人ノ投票ニ關涉シ又ハ被選舉人ノ氏名ヲ認知スル

ノ方法ヲ行ヒタル者ハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス
 法令ノ規定ニ依ラズシテ投票函ヲ開キ又ハ投票函中ノ投票ヲ取出シタル者ノ罰亦前項ニ同シ
 (註解) 本條及前條ハ選舉ニ關係スル官吏吏員タル者ノ所爲ニ對スル罰則ニシテ普通人ニ比スレバ其罪犯シ易クシテ防ギ難シ故チ以テ普通人ニ對スルヨリモ稍其刑モ亦重シ
第九十一條 投票管理者開票管理者選舉長立會人若ハ選舉監視者ニ暴行ヲ加ヘ又ハ選舉會場開票所若ハ投票所ヲ騷擾シ又ハ投票投票函其ノ他關係書類ヲ扣留毀壞奪取シタル者ハ四月以上四年以下ノ輕禁錮ニ處ス

多衆ヲ嘯聚シテ前項ノ罪ヲ犯シタル者ハ輕禁錮ニ處ス其情ヲ知テ嘯聚ニ應シ勢ヲ助ケタル者ハ一月以上五年以下ノ輕禁錮ニ處ス
 (註解) 本條ハ選舉ニ關スル官吏吏員ニ對シ暴行ヲ加ヘ又ハ投票所ヲ騷ガシ又投票トカ投票函其他必要ノ書類ヲ取り押ヘテ出サズ且ツ以上ノ必要書類及投票及投票函等ヲコハシタリ無理ニ引タグリタリ且ツ又多人數ヲガヤ／＼呼集メテ本條ノ罪ヲ犯シ又ハ其ワケヲ知リツ、呼集ニ隨ヒ勢ヲ助ケタル者等チ處罰スベキ規定ナリ
第九十二條 選舉人議員候補者若ハ選舉運動者ヲ脅迫シ又ハ選舉會場開票所投票所ヲ騷擾シ又ハ投票投票函其ノ他關係書類ヲ扣留毀壞奪取スルノ目的ヲ以テ多衆ヲ

嘯聚シタル者ハ六月以上三年以下ノ輕禁錮ニ處ス
 犯罪者第九十三條ノ物件ヲ携帶シタルキハ各本刑ニ一
 等ヲ加フ

(註解) 本條ノ解ハ前條ト大同小異ニ付キ略ス

第九十三條 選舉人議員候補者及選舉運動者ニシテ選舉
 ニ關シ銃砲槍戟刀劍竹槍棍棒其ノ他人ヲ殺傷スルニ足
 ルベキ物件ヲ携帶シタル者ハ二年以下ノ輕禁錮又ハ五
 圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス
 警察官吏又ハ憲兵ハ必要ト認ムル場合ニ於テ前項ノ物
 件ヲ領置スルコトヲ得

(註解) 本條ハ鐵砲刀劍等ノ兇器ヲ携帶シタル(選舉人議員候補者選

舉運動者等)者ニ對スル罰則ニシテ場合ニヨリ警察官憲兵ハ本條ノ
 物件ヲ取リ上グルコトモアルベシ

第九十四條 前條記載ノ物件ヲ携帶シテ選舉會場開票所
 若ハ投票所ニ入りタル者ハ前條ノ例ニ依リ一等ヲ加フ

第九十五條 選舉ニ關シ氣勢ヲ張ルノ目的ヲ以テ多衆集
 合シ若ハ隊伍ヲ組ミテ往來シ又ハ煙火篝火松明ノ類ヲ
 用井若ハ鐘鼓法螺喇叭ノ類ヲ鳴ラシ旗幟其ノ他ノ標章
 ナ用ユル等ノ所爲ヲ爲シ警察官吏ノ制止ヲ受クルモ仍
 其ノ命ニ從ハザル者ハ十五日以上六月以下ノ輕禁錮ニ
 處シ又ハ五圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十六條 第八十九條乃至第九十五條ノ所爲ヲ爲サシ

ムルノ目的ヲ以テ演説又ハ新聞紙雜誌引札張札其他何等ノ方法ヲ以テスルニ拘ラズ人ヲ教唆シタル者ハ其ノ各條ニ依リ處斷ス但新聞紙雜誌ニ在リテハ仍其ノ署名シタル編輯人ヲ處斷ス

第九十七條 當選ヲ妨グルノ目的ヲ以テ演説又ハ新聞紙雜誌引札張札其ノ他何等ノ方法ヲ以テスルニ拘ラズ議員候補者ニ關シ虛偽ノ事項ヲ以テ公ニシタル者ハ六月以下ノ輕禁錮ニ處シ五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス新聞紙雜誌ニ在リテハ前條但書ノ例ニ依ル

第九十八條 選舉人タルコトヲ得ザル者ニシテ投票ヲ爲

シタル者及氏名ヲ詐稱シテ投票ヲ爲シタル者ハ一月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第九十九條 立會人正當ノ事故ナクシテ本法ニ定メタル義務ヲ缺クトキハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第一百條 第九十二條第二項第九十三條及第九十四條ノ罪ヲ犯シタル場合ニ於テハ其ノ携帶シタル物件ヲ沒收ス

第一百一條 當選人其ノ選舉ニ關シ選舉ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレタルトキハ其當選ヲ無効トス

第一百二條 選舉ニ關スル犯罪ニ依リ刑ニ處セラレタル者

ハ裁判所ノ宣告ヲ以テ刑期後仍二年以上八年以下選舉人及被選舉人タルコトヲ禁ズ

第三百三條 本法ニ依リ處罰スベキ犯罪ハ六ヶ月ヲ以テ時効ニ罹ル

(註解) 第九十四條以下本條ニ至ル各條共選舉ニ關スル犯罪ニ對スル諸罰則ニシテ意義ハ前々條ニ於テ詳細述ベタルヲ以テ更ニ贅言ナ用ユルノ要ナシ第九十九條ノ意義ハ前條所々散見スル彼ノ投票又ハ開票立會人ニ對スル制裁ニシテ以上ノ立會人ニシテ故ナリ辭スル場合ニハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處セラル、モノナリ元來立會人タル者ハ名譽職ニシテ立會人ニ撰任セラレタルトキハ屑ク就任スベキ等ナルニ正當ノ事故ナクシテ之ヲ辭スルハ自己ノ社會ニ對スル義務

ヲ盡サマルヲ以テ處罰セラル、ハ當然ノ結果ナリトス

第十二章 補則

第四百四條 選舉ニ關スル費用ニ付テハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(註解) 選舉ニ關スル費用トハ投票所ノ開設及開票所準備書類器具ノ設備官吏吏員等ノ旅費ノ如キモノヲ云フ是等ノ費用ハ或ハ縣稅ヲ以テスルヤ否ヤ等勅令ヲ以テ定ムベキトナリ

第四百五條 選舉ニ關スル訴訟ニ付テハ裁判所ハ他ノ訴訟ノ順序ニ拘ラズ速カニ其ノ裁判ヲ爲スベシ

(註解) 選舉ニ關スル訴訟ニ付テハ他ノ訴訟ノ順序ニ拘ラズ速ニ裁判ヲ爲スベシトハ如何ナル理由ナルヤ抑モ選舉ノ効力ノ有無ハ一刻モ

忽ニスベカラズ速ニ審査ナシテ有無ノ判決ヲ與ヘザレバ若シ無効ノ場合ニハ更ニ直ニ改メテ選舉セザルベカラザルノミナラズ證據ノ湮滅ニ歸スルノ恐れナキニアキアラズ故ニ他ノ訴訟ノ順序ニヨラズ先決トスル所以ナリ

第一百六條 町村制ヲ施行セザル地ニ於テハ本法ニ規定シタル町村長ノ職務ハ戸長又ハ之ニ準ズベキ者之ヲ掌ル島司ヲ置ケル島嶼ニ於テハ本法ニ規定シタル郡長ノ職務ハ島司之ヲ掌リ其ノ島司ナキモノニ於テハ郡長ニ準ズベキ者之ヲ掌ル
東京市京都市大阪市ニ於テハ本法中市トアルハ區市長トアルハ區長市役所トアルハ區役所ニ該當ス

第一百七條 立會人指定ノ時刻ニ至リ參會セザルトキ又ハ參會シタルモ中途ヨリ定數ヲ欠キタルトキハ投票管理者開票管理者選舉長ハ臨時選舉人中ヨリ立會人ヲ選任スベシ

第一百八條 選舉人名簿ニ關スル訴訟選舉訴訟及當選訴訟ニ付テハ本法ニ規定シタルモノヲ除クノ外總テ民事訴訟ノ例ニ依ル

第一百九條 本法ニ於ケル直接國稅ノ種類ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第一百十條 北海道及沖繩縣ニ於テ本法ノ規定ヲ適用シ難

キ事項ニ就テハ勅令ヲ以テ別段ノ規定ヲ設クルコトヲ得

(註解) 百六條以下本條ニ至ル本法補則中ノ條目ナルガ各條讀ンデ字ノ如ク註解ヲ加フルニ及ハズ

第十三章 附則

第百十一條 本法ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ス但シ北海道札幌區 釧路區 小樽區ヲ除ク沖繩縣ニ付テハ勅令ヲ以テ別ニ施行ノ期日ヲ定ム

(註解) 本法ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行スト本法ハ明治三十三年三月廿八日ヲ以テ發布セラレタルナレバ次ノ總選舉ト云フハ取りモ直サズ三十五年ノ總選舉ヨリ施行スルモノト見テ可ナリ何トナレバ本法

發布後未ダ一回モ總選舉施行ナケレバナリ

第百十二條 本法ニ依リ初メテ議員ヲ選舉スルニ付必要ナル選舉人名簿ノ調製ニ限り第十八條乃至第二十條第二十四條第二十六條第二十七條ノ期日及期間ハ勅令ヲ以テ別ニ之ヲ定ムルコトヲ得但シ其ノ選舉人名簿ハ次年ノ選舉人名簿確定ノ日迄其ノ効力ヲ有ス

(註解) 第十八條ノ名簿調製第二十條ノ縦覽期間第二十四條ノ脱漏又ハ誤載ノ申立ニ對スル決定期間第二十六條町村長ヨリ郡長ニ送付スベキ期間又ハ郡長ヨリ町村長へ名簿ヲ返付スベキ期日第二十七條ノ確定期日等ニ關シテハ勅令ヲ以テ別ニ之ヲ定ムルコトガデキルトノ意ニシテ尤モ其ノ名簿ハ次年ノ名簿確定ノ日マデ前年ノ確定名簿ノ効力ヲ存ストノ意ナリ

選舉法

別表

本表ハ明治三十五年四月四日法律第三十八號ノ及第三十九號改正法律ヲ以テ更正シタリ

東京府	東京市	郡部	伊豆七島	五十一人
京都府	京都市	郡部		五十三人
大阪府	大阪市			六人
堺市				六人
神奈川縣				六十一人
橫濱市				六十二人
兵庫縣				六十二人
神戸市				六十二人
姫路市				六十二人
郡部				六十一人

選舉法

長崎縣	長崎市	郡部		六十一人
新潟縣	新潟市	郡部		六十一人
埼玉縣		郡部		六十一人
群馬縣		郡部		六十一人
高崎市				六十一人
前橋市				六十一人
千葉縣				六十六人
茨城縣				六十六人
水戸市				六十六人
郡部				六十六人
栃木縣				六十一人
宇都宮市				六十一人
郡部				六十一人
奈良縣				六十一人
奈良市				六十一人
郡部				六十一人
三重縣				六十一人

衆議院議員選舉法注釋畢

鹿兒島市	一	人
那部	七	人
大島	一	人
北海道廳	一	人
札幌區	一	人
函館區	一	人
小樽區	一	人
札幌小樽增毛	一	人
岩谷川	一	人
宗室蘭	一	人
空知各支	一	人
浦河各支	一	人
廳管内	一	人
函館松前	一	人
檜山壽都	一	人
各支廳管内	一	人

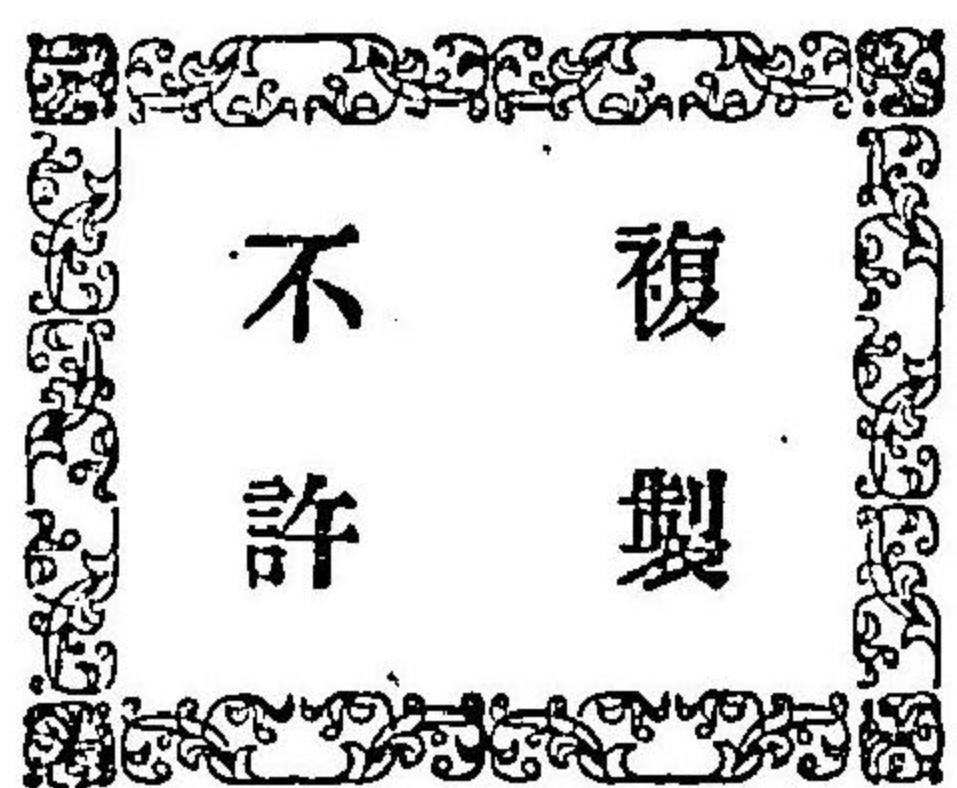
根室釧路
河西網走
各支廳管内
（根室支廳管内千島二
屬スル諸郡ヲ除ク） 一人

沖繩縣
那霸區
首里區
島尻郡
中頭郡
國頭區 二人

本表ハ選舉區ノ人口ニ増減ヲ生ス
ルモ少クトモ十箇年間ハ之ヲ更正
セズ

明治三十五年四月四日印刷
明治三十五年四月七日發行

（正價金拾貳錢）



著作者 津本成德
發行者 武田福藏
印刷者 矢野松吉

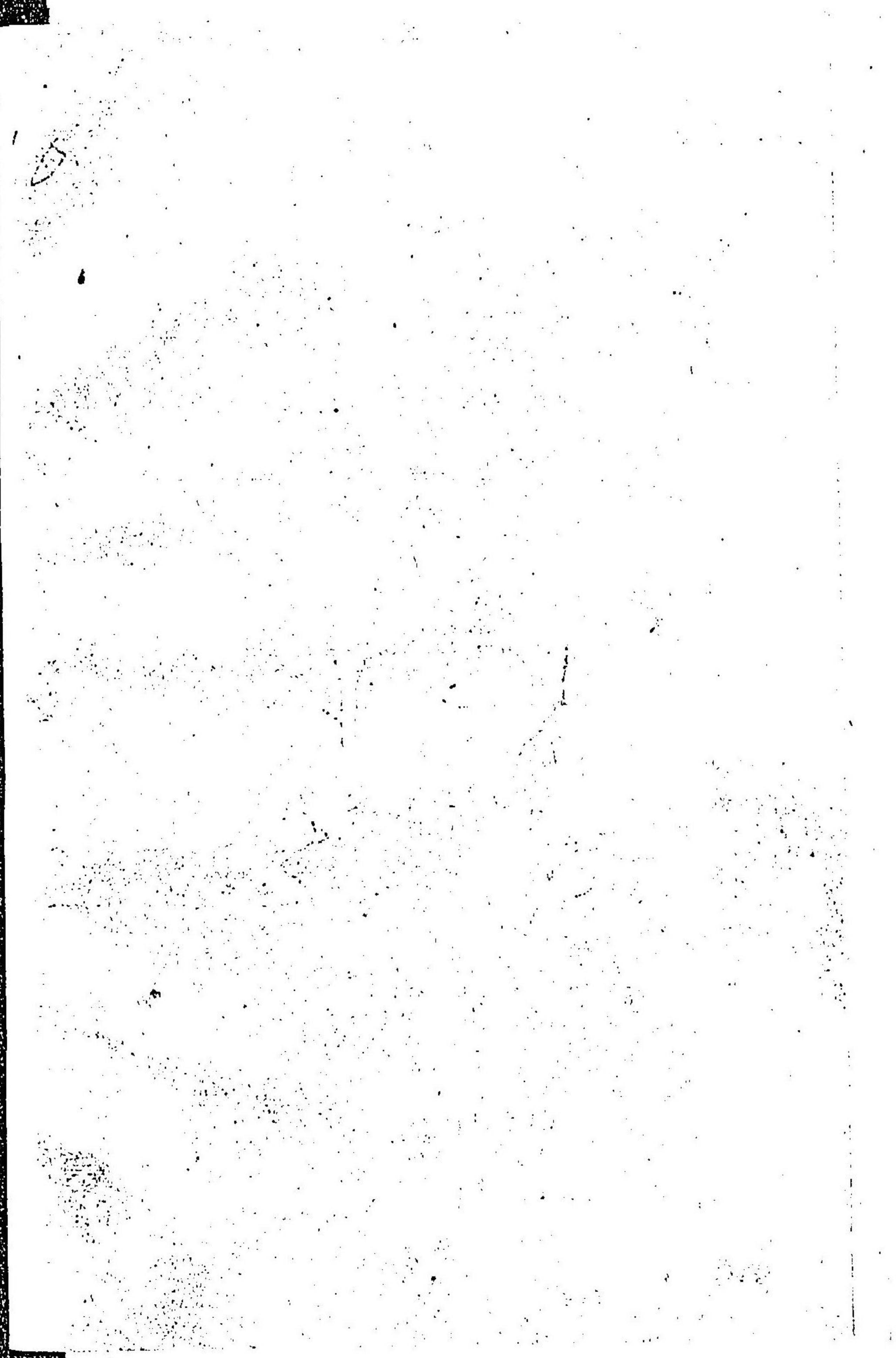
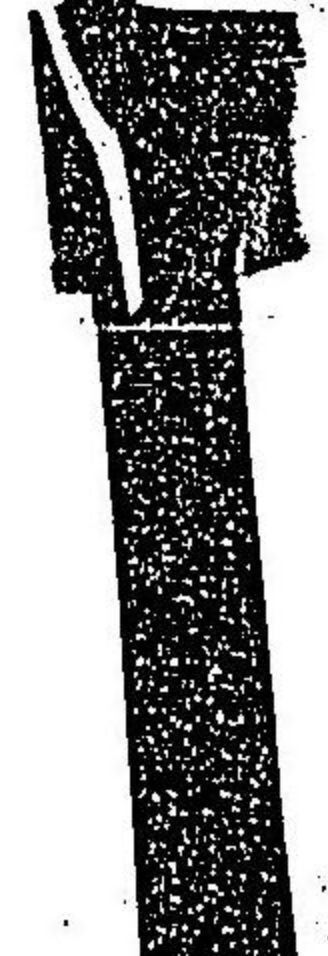
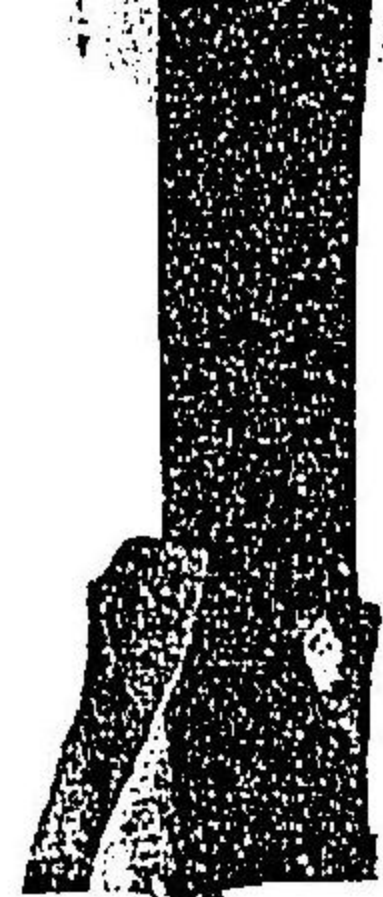
大阪市東區南久太郎町四丁目八十六番屋敷
大阪製本印刷株式會社代表者

發行書肆

大阪市東區南久太郎町
心齋橋筋四入

武田交盛館

法律資料第一課
29.10.8
調査立法考査局





314.8

Tu 734

改正衆議院議員選挙法註釈

国立国会図書館

031867-000-7

314.8-Tu734s

改正衆議院議員選挙法注釈

津本 成徳 / 著

M35

BBF-0031

